

ATR TALK EXCHANGE

2024年 5月 21日 (火) 14:00~14:20

ATR表彰 奨励賞受賞①

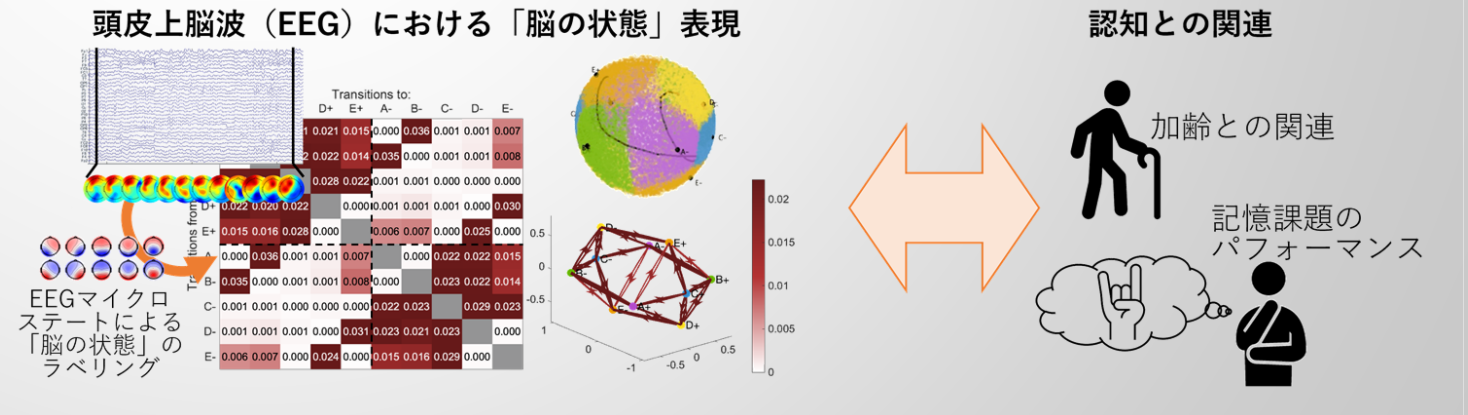
「脳の状態」と認知：EEGマイクロステートによる脳波全脳状態ダイナミクスの検討

認知機構研究所研究員 柏原 志保



脳が主観的な心の状態や認知とどのように関わっているのかという問題は人々の大きな関心事である一方で、まだ未解明なことがたくさんあります。発表者は、頭皮上脳波（EEG）を用いて時空間に連続な神経活動を表現する指標の開発に取り組みながら、それらの指標と参加者の心的状態や認知課題のパフォーマンスの関連について調べています。

本発表では、EEGマイクロステートと呼ばれる指標を発展させ「脳の状態」のダイナミクスを捉える手法についてご紹介した上で、参加者の心理的状态や認知課題のパフォーマンス，例えば加齢の影響や記憶課題中のパフォーマンスと全脳状態ダイナミクスの関係について検討してきた結果をご紹介します。



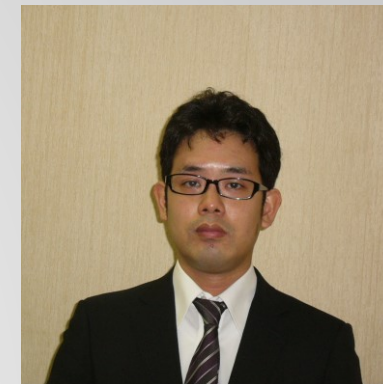
ATR TALK EXCHANGE

2024年 5月 21日（火） 14:20～14:40

ATR表彰 奨励賞受賞研究②

Moffuly- II : 人を抱きしめて頭を撫でるロボット

インタラクティブ科学研究所 研究員 大西 裕也



他者との触れ合いは、信頼や愛情を育むために欠かせない行為であり、例え相手がロボットであっても触れ合うことで親しい関係を育めることが知られています。本講演では、人を抱きしめられるロボット「Moffuly- II」の紹介と、そのロボットが抱きしめている間の動作が人に及ぼす効果について調べた実験結果を報告し、人と物理的に触れ合うロボットのインタラクティブデザインについて議論します。



ATR

ともに究め、明日の社会を拓く

ATR TALK EXCHANGE

2024年 5月 21日（火） 14:40～15:00

社長ファンド 最優秀社長ファンド賞 受賞研究

人に優しいロボットのデザイン

インタラクション技術バンク 客員研究員 高橋 英之



傍にいただけで周囲に良い影響が生じ、優しい場やコミュニティが形成する「人に優しいロボット」を生み出すことに興味をもって研究をしてきました。今回の発表では研究者が思う「人に優しいロボットのデザイン」について概説するとともに、主にATRで行ってきた、いくつかの研究事例を紹介することで、このようなロボットをどのように現実社会の中で具現化していくのか、その今後の道筋について議論を行いたいと考えています。

